

特別な教育課程の編成方針等について

国本女子中学校

1. 特別な教育課程の概要及び編成方針

本校では中学校で、英語、数学、理科、社会、体育の5科目の一部授業において授業を英語で実施するイマージョン教育を行っている。本校の高等学校には、カナダ・アルバータ州教育省から Alberta Accredited International School（アルバータ州認定海外校）としての認定を受けた Kunimoto Alberta International School (=KAIS) が併設されており、中学校卒業後は高等学校 DD コースに進学し、本校の卒業資格だけではなく、カナダ・アルバータ州の卒業認定資格も取得することが可能になっている。上記のイマージョン教育は「英語を」学ぶだけではなく、「英語で」学ぶことに特長があり、本校では、中学校でのイマージョン教育を、高校進学時に必要な「英語による」教科学習の基礎を形成する準備期間として位置付けている。

カナダ・アルバータ州教育省は2010年にその教育ビジョンとして「3つのE」、つまり Engaged Thinker（積極的にさまざまな物事に関与して考える人）、Ethical Citizens（倫理的な市民）、Entrepreneurial Spirit（起業家精神の発揮）を掲げている。これらは日本がまさに、2020年度より開始した教育改革が目指すところと多くの部分で重なっており、その意味で、日本よりも10年先にそのような改革を始め、アクティブラーニング、STEAM教育などの教育システムを実践してきたカナダ・アルバータ州のプログラムを一部授業に取り入れるために、上記の特別な教育課程は本校の教育において重要な役割を担っている。

2. 学校又は地域の特色を生かした特別な教育課程を編成する必要性

本校を設置する国本学園は学園全体として、グローバル教育に取り組んでいる。外国人教員も小規模ながら、学園全体で現在8名が勤務している。帰国生や国際家庭の出身を含む生徒たちは、互いの違いを認め合いながら切磋琢磨し、英語だけではなく、課題発見・問題解決型学習、自己発信型の学習に積極的に取り組んでいる。中学校3年次の夏に、カナダ・ブリッティッシュ・コロンビア州で短期海外研修、高校1年次に、カナダ・アルバータ州への1年間または半年間の留学に参加する。海外大学への進学を目指している生徒も多く、教育課程特例校制度による英語イマージョン教育は本校の教育課程にとって必要不可欠なものであると考える。